

東16.2



一九五四年一月二十五日
発行

第38巻 第1号

史学・地理学・考古学

- 古墳の発生の歴史的意義……………小林 行 雄 (1)
- アメリカ旧南部における非奴隷所有農民(上) ……山 本 幹 雄 (21)
——第二次アメリカ革命の構造把握のために——
- 三国具の政治と制度……………宮 川 尚 志 (35)

資料紹介

- 軍人勅諭の成立と西周の憲法草案(-)……………梅 溪 昇 (62)

書評と紹介

- 京都府教育委員会：醍醐寺新要録……………柴 田 実 (74)
- J.G.D. Clark: Prehistoric Europe —The Economic Basis— ……藤 岡 謙 二 郎 (75)

学会消息

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会
阪替口座京都三三二八路

たのは、あるいは策の拙なるものと評されるかもしれない。しかし、古墳の発生の背後に首長権世襲制の発生を考えようとすることは、同時に、たとえ世々王有りといひ、卑弥呼の後をその宗女咄与が継いだという記事があるにしても、邪馬臺國にはまだ首長権の世襲制は発生していなかつたと

する解釈に立つものであること、いいかえれば、邪馬臺國の社会段階と古墳時代前期のそれとの間に、なお若干の差異を認めようとするものであることを申し添えておきたい。ここにただ世襲制というのが男系世襲制をさすことはいうまでもない。

(一九五四年一〇月)

会 告

十一月二日に開催されました本会において次のように会則が変更されました。

「第五条本会に理事長一名、理事五名、監事二名、評議員二十名及び委員若干名を置く」とある評議員二十名を「評議員二十五名」に改める。

「第十五条本會のため功績顯著な者は評議員会の議決により名譽會員に推薦することが出来る」を新に設ける。

尚新に別項記載の役員を選出し、右の会則によつて、岩井武俊、岩橋小弥太、新村出、中村直勝、那波利貞、西田直二郎、羽田亨、矢野仁一の八氏を名譽會員に推薦致しました。

昭和廿九年十一月廿日

史 学 研 究 会

るに足る兵力を養い、国家の体制を整えることができたが、魏將鄧艾が言つたごとく、孫權の死後は名宗大族みな部曲を有し兵仗を畜え、(魏志二八) ただ相互の勢力關係から孫氏を主と戴くにすぎず、公族・大臣の争いや謀叛が絶えなかつた。ただ大事に至らなかつたのは官僚貴族制を整える努力がなされたこと、君主が校事の様な中書系統の耳目の官を備え科法を以て大臣を監視したことによる。後者について、呉人環濟の帝王要略に、中書が尚書を経由せず、州郡及び辺將に密詔を下したことを述べ(太平御覽二二〇)、前者については華譚の華氏新論の尚書二曹論に、漢では一綏

民をとりしまる嘘曹が要職だつたのが、呉では吏部が重んぜられているとの問答をのせているが、これには吏部尚書が清實の官であると共に、実權は中書舍人に歸した南朝の政治機構の原型がすでに現われている。(拙稿「魏晉及南朝の寒門・寒人」東亞人文学報三の二)

呉の興亡は東晉以下南朝のそれといくたの点で類似しているのは江南という地域性と貴族制の時代という共通の間空間の上に立つたもので、それら諸國の国制のひながたを提供している。

史学研究会 例会

日 時 二月五日(土) 午後一時

場 所 京都大学薬友会館(市電近衛通下車)

題 未 定

現代ドイツ・ドイツ史学界見聞(幻燈使用)

樋 口 隆 康 氏
井 上 智 勇 氏

五、結 語

「勅諭稿」が公布本「軍人勅諭」に至つて、主としてその前文と第一條において飛躍的に内容に変化を生じ、しかもその変化が西自身の思想的發展の結果でなかつたことは、勅諭完成の功を語る上で或いは彼のために惜むべきであるかも知れない。しかしながら「軍人勅諭」の成立の時期は、恰も近代史初頭の最初にして最大といふべき政治上の疾風怒濤時代であり、またかかる激動期なるが故に、その成立・發布が試みられたのであつて、その完成にあつて、明治初頭の啓蒙主義哲學者として現前の軍隊の實情と近代國家における軍隊の一般性の認識から、客觀的にして、しかも内面的・自發性のある軍人モラルを設定せんとした企圖が、井上のなすぐれて時局的な絶対主義政治家による政治の側からの、まさに上からのモラルの強制のために崩れ去つたことも、当時の歴史的事情から當然なことであつた。従つて井上が西に代つて『飛躍』の推進者たる資格を獲たことも、彼がその時期に演じた役割の主導的にして重大であつたことを思えば、蓋し歴史的必然と言ふべきであらう。西は早くから政治と宗教道徳との區別を提議し、彼独自の道徳論を有した。而もそうした広く且深い歴史哲學的教養を背景としつつ、日本近代軍隊の内部にあつて、その軍隊社會構造における日本の特殊性と近代的一般性を顧慮しつつ、軍人モラルを礎こうとしたのが「勅諭稿」

であつた。そこに見られるモラルのかなり合理的・客觀的な与え方、道徳としての自發性の豊かさを、井上の立場に飛躍せぬことによつて失わなかつたと考えられる点にこそ、西周その人の本領があつた訳で、勅諭完成の功をよしや井上に譲つたとしても日本軍隊の性格形成史上における彼の役割は至大であり、むしろ、彼の軍隊思想が挫折したところに近代史の行方を左右したその後の軍隊(部)のありかたを早くも説明するものが與深く潜んでいるようである。(本稿は昭和二九・六・二〇詔史會春季大会に發表した要旨に若干の補訂を加えたものである。昭和二九・七・二六記)

次号以降西周の「憲法草案」(國立國會圖書館藏)の全文を掲げる。(尚「草案」の閲覧に關し國立國會圖書館國會分室憲政資料室、並に大久保利謙氏に負うところが多い。記して感謝の意を表する。)

執筆者紹介

- | | |
|--------|---------|
| 小林 行雄 | 京都大学講師 |
| 山本 幹雄 | 龍谷大学講師 |
| 宮川 尚志 | 岡山大学教授 |
| 梅 溪 昇 | 大阪大学助教授 |
| 柴 田 実 | 京都大学教授 |
| 藤岡 謙二郎 | 京都大学教授 |

考古学関係

京都府竹野郡網野町大字小浜岡古墳群の調査

京都府文化財保護課の委嘱を受け十一月十日より五日間、京大考古学教室より、樋

口隆康・川端真治両氏が表記古墳群中道路

工事によつて取り除かれることになつた二基の古墳の調査に赴いた。両墳共砂丘上に築かれ、一は箱石棺を、一は堅穴式石室を

主体とし、前者からは一体の人骨、後者からは七体の人骨と共に、それぞれ若干の須惠器、鉄片、石製玉飾の出土を見た。

新入会員

朝尾 直弘
浅香 正
猪飼 昭子
池内 義資
池田 敬正
池永 二郎
池葉須藤樹
今治北高校
上田 和子
江坂長四郎
大戸 道彦
岡田芳三郎
小野塚玄規
楠本 典昭
堅田 直
金井 之文
金沢大学法文学部史学研究室 金沢市大手町一
金子 一司
木島 孝文
児島高校
小林 馨
小山 亭

今治市日吉

岡山県児島市味野

酒井 三郎
佐藤 長
佐原 真
潮見 浩
清水 泰次
鈴谷 正男
武井 博明
田中 繁三
坪井 清足
東京都立大学歴史研究室 東京都目黒区衾町五九一
中臣 恵暁
新田 益也
林 陸朗
藤原 紀子
藤田 等
細川 行信
牧田 諦亮
水谷 清三
三輪 房子
山田 真
吉川 専心
吉原 慶法
渡部 康彦

西洋史学

第二三輯（二九年十月刊）

- ドイツ世界政策の一転機……………山脇重雄
 「新航路」の通商政策……………岡部健彦
 —「大通商協定」を中心に—
 カイザー・ウィルヘルム二世の対露政策について……………黒羽茂
 《ノート》イギリス重商主義……………小津・石川
 書評・紹介・学会報告その他……………小野・田村

第二四輯（二九年十二月刊）

- 英国地主制の一考察……………越智武臣
 —十六世紀ジュネトリの問題—
 十四世紀イタリア絵画の理想主義的性格……………藤原国雄
 イギリス絶対王制と産業の独占……………宮島康雄
 《ノート》現今の古代埃及語研究について……………加藤一朗
 書評・紹介その他……………
- 入会御希望の方は会費（年額六〇〇円、各号一五〇円、送料共）を添えてお申込み下さい。
 ○現在バックナンバーは全部揃います。

京都大学文学部西洋史研究室内

日本西洋史学会

振替東京一〇三六九

編集後記

多事多忙だった一九五四年もおわり、ここに新しい年、一九五五年をむかえることになりました。会員のみなさまに、誌上から謹んで新年の御あいさつをお送りします。

「史林」も隔月刊二年目に入り、いよいよ上張切つていきます。それに つけても、戦後十年間にここまで盛上げたのは、ただ世の中が平穩であつたからではなく、国民的な学問・文化への意欲と先輩役員諸賢の御尽力とにはかならぬことを考え、われわれがまだまだこの盛上る意欲にこたえていないことを痛感させられます。忌憚ない御批判と御注文をお待ちします。なお本巻は全体の企画として各号八八頁、第六号を特輯増頁にする予定です。

(黒田)

【おことわり】さきに三七巻目次を作りましたが、誤りが多いので、今度新たに刷り直しました。深くおわびいたします。

一九五四年十二月三日印刷
 一九五五年一月一日発行
 定価 百円

史林 (第三八巻 第一号)

京都市左京区吉田木町
 京都大学文学部内

発行所 史学研究会

理事 長 振替大阪一四五五六番
 編輯主任 原 随園
 赤松 俊秀

印刷所 中村印刷株式会社
 京都市下京区七条御所ノ内東町三九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XXXVIII, NO. 1

Jan. 1955

CONTENTS

Articles :

- The Importance of the Appearance of Mound-Tombs
(*Kofun* 古墳) in Japanese History.....*Y. Kobayashi* (1)
- The Non-Slaveholders in the Old South (1)*M. Yamamoto* (21)
— In Connection with the Second American Revolution —
- The Politics and the Institutions of *Iwu* (吳)
at the *Sankuo* (三国) Period*T. Miyagawa* (35)

Short Notice :

- Imperial Edict for the Soldiers and the Draft of
Constitution by *Amane Nishi* (西周) (1).....*N. Umetani* (62)

Book Reviews & News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan